

## 令和7年度 東部公民館 「目玉事業」の評価

- 1 事業名 リニューアルオープン記念 秦由加子氏 講演会
- 2 実施日時 令和7年5月18日（日）  
午後1時30分～午後3時00分
- 3 会場 東部公民館 講堂
- 4 参加人数 94名
- 5 事業のねらい

東部公民館大規模改修工事の完成及び開館を記念し、パラリンピック選手の講演会を開催し、アスリートとしての道のりや目標・夢を地域の方々に伝えるとともに、共生社会の理解を深める機会とする。

### 6 評価

10代～80代の幅広い参加があり、自転車競技アスリートとして、またパラリンピック選手としての貴重な生の声を伺うことができ、参加者からは、講演会后、たくさんの感想が寄せられ、障害者に対する知識や理解を深めることができたとともに、今後、応援したいという気持ちが芽生えた様子であった。共生社会の実現を目指す取り組みの中で、本事業の目的は達成されたものと感じている。

引き続き、障害者との交流を深める事業を通して、共生社会の実現に寄与していきたいと考える。

## 令和7年度 三田公民館 「目玉事業」の評価

- 1 事業名 はじめてのカリンバ体験
- 2 実施日時 【第1回】 令和7年7月5日（木）  
10時00分～11時30分  
【第2回】 令和7年7月12日（木）  
10時00分～11時30分
- 3 会場 三田公民館 第1・2集会室
- 4 参加人数 【第1回】 14名  
【第2回】 8名

### 5 事業のねらい

親指で誰でも手軽に演奏できるカリンバの体験を通して、参加者の交流を図る。また、公民館の利用が少ない20代～50代の参加を促し、公民館を知るきっかけとする。

### 6 評価

ねらい通り初めてカリンバに触れる方に参加が多かった。初めてでも、2回講座で「かえるのうた」と「きらきら星」を弾けるようになった。また、輪唱演奏や合奏を行うことで、班ごとに交流をすることができた。公民館の利用が少ない20代～50代の方、公民館を初めて利用される方の参加があった。公民館を知っていただく、良い機会となったと考える。

## 令和7年度 習志野台公民館 「目玉事業」の評価

- 1 事業名      リカレント教育 <坪井公民館共催>  

(パーソナルカラー診断&眉毛の描き方講座)
- 2 実施日時      【第1回】10月18日(土)10時~12時  

【第2回】11月1日(土)10時~12時
- 3 会場          坪井公民館 実習室 第1・第2集会室
- 4 参加人数      【第1回】12名  

【第2回】11名
- 5 事業のねらい  

メイクアップの基礎等を通して、魅力アップを図り、コミュニケーション能力の向上を目的とする。
- 6 評価  

各参加者個別のパーソナルカラー診断を通して、各人に合うカラーや眉毛の描き方を学び、参加者同士の交流やメイクに対する自信度の向上等、魅力アップを図ることができた。



援する環境をつくる。」とした。

【第1回】について、小学生は同時間帯に別室で開催されたハッピーサタデー（アートフレーム作り）に参加し、未就学児は託児を行った。最後に子供と保護者が作成した作品を展示し、鑑賞会と撮影会を行い、お互いの作品を見せ合った。父親や母親がつかの間の子育てから解放され、同じ地域に住む子育て世代同士で交流しながら、楽しくものづくりができた。

【第2回】について、小学生は同時間帯に別室で開催されたハッピーサタデー（ハロウィンダンスパーティー）に参加し、未就学児は託児を行った。保護者がカップケーキを作っている間にダンスを覚え、保護者に披露した。保護者は休日に子供と離れお菓子作りや保護者同士の交流ができ好評だった。

【第3回】について、小学生は同時間帯に別室で開催されたハッピーサタデー（クリスマスランチパーティー）に参加し、未就学児は託児を行った。保護者がクリスマスのマクラメタペストリーを作成している間に、子供たちはバターチキンカレーとラッシーを作り保護者と一緒にランチパーティーを実施した。保護者はタペストリーを作成している間、手を動かしながら子育てや夫婦の悩みなどを話す機会となった。保護者は、少しでも子供から離れることでリフレッシュできたと好評で継続していく必要があると感じた。

## 令和7年度 薬円台公民館 「目玉事業」の評価

- 1 事業名 やくえんだい楽学講座
- 2 実施内容 【第1回】紅茶のふるさと南インドを旅する&紅茶試飲  
令和7年6月27日（金）10時～11時30分  
【第2回】編集者50年の備忘録  
～私が出会った心に残る作家たち～  
令和7年7月4日（金）10時～11時30分  
【第3回】生物多様性って知ってる？  
～船橋の生物多様性を守るために私たちができること～  
令和7年7月11日（金）10時～11時30分  
【第4回】馬頭琴のレクチャーコンサート  
令和7年7月18日（金）10時～11時30分
- 3 会場 薬円台公民館
- 4 参加人数 【第1回】36名 【第2回】32名  
【第3回】27名 【第4回】119名
- 5 事業のねらい

企画委員により企画・実施し、生活情報の交換と交流の場とし、地域への理解と絆を深める。

### 6 評価

8名の企画委員が検討を重ねて講座内容を決めているため、内容はバラエティーに富み、参加者からは「内容が多岐にわたり面白かった」「各回特徴があっ

て楽しめた」等の声が多かった。

1回目の「紅茶の講座」で紅茶を飲みながら参加者同士のコミュニケーションも図れたため、最終回まで和やかな雰囲気だった。2回目の文藝春秋の元編集者による講演は、有名作家の人柄や作家との交流など、めったに聞く機会のないエピソードばかりで、講座後のアンケートでは「本が読みたくなった」という意見もあり、本の魅力を再認識できた講座だった。

3回目の講座では、船橋市で10年に一度行われている自然環境調査に合わせ、参加者がアプリを使って市民調査に参加できるように、また船橋市の自然環境に興味関心を持ってもらえるよう、環境政策課の協力を得ながら講座を実施した。公開講座にした4回目のコンサートもなかなか聴く機会のない馬頭琴の音色をモンゴルの映像とともに楽しむことができ、好評だった。

今後も地域住民の楽しい交流の場となるよう、企画委員と協力しながら運営していきたい。